





先生の一步を子供達の百歩に！オンラインが繋ぐ企業と自治体と学校と人と人。ワクワクプログラミング研修		<b>取組開始時期</b>	2020.5.22	<b>取組の</b> <b>カテゴリ</b>	教育・研究
---	--	---------------	-----------	---------------------------	-------

<b>1. 団体名</b>	ソーバル株式会社	<b>2. 連携先の団体</b>	静岡県南伊豆町商工観光課、静岡県南伊豆町教育委員会
---------------	----------	------------------	---------------------------

<b>3. 取組目的</b>	まさに始まりつつあるプログラミング教育がどういうものか？を先生自身にワクワク体験していただくこと。オンラインの可能性を知っていただくこと。	<b>4. 関連するゴール</b>	   
----------------	---	-------------------	---

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

**<東京ー静岡 を オンラインで繋ぎ、プログラミング研修>**

**実施前**

- オンラインでご挨拶（まずはココから✓）
- オンラインツールの使い方やインターネット環境・パソコン環境などを確認
- 当日実施についての詳細確認

**当日**

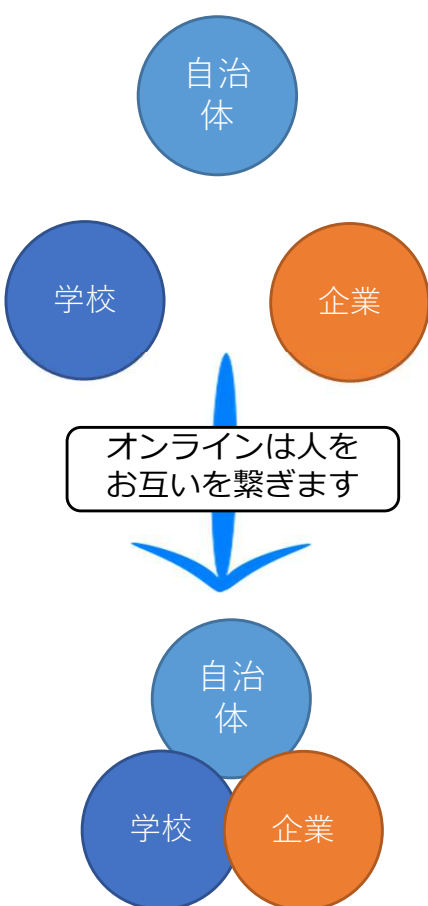
- 実施当日
- プログラミング教育に対する、先生方の不安低減とモチベーション向上

**実施後**

**今後の展開**

- 実際の授業支援
- 学校間交流支援
- IT/ICT活用支援

先生方の持続可能な自走に対する支援  
地域ぐるみでの人材育成・支援



自治体

学校

企業

オンラインは人をお互いを繋がります

自治体

学校

企業

**取組のポイント（3つの視点）**

**地方創生SDGsの視点**

地域によっては、プログラミング教育についての研修を実施できていないところがあるのが現状。依頼できる企業や人が身近にいない、または繋がりが無いなど、理由は様々。ただ、その結果、一番影響を受けるのは大人ではなく、子供たち。地域や大人が原因での、きっかけ・機会の差を少しでもなくす。

**ステークホルダーとの連携**

- 自治体担当者の方との対話
- 自治体担当者の方と学校現場の対話
- 学校現場と企業（ソーバル）との対話

いずれにしてもオンラインでいきなり「はいどうぞ」とはならず、まずはお互いを知るところから始める。結局は人と人の繋がり。

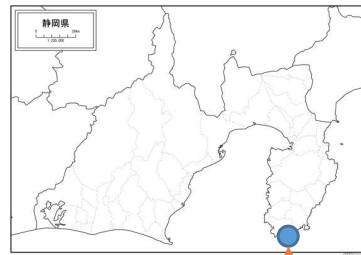
**モデル性・波及性**

オンラインでの実施のため、ある程度環境が整いつつある現在、加えて先生方・自治体の方のオンラインに対する理解も進み、操作も慣れてきている。従って、オンラインでの実施という点で、地域や学校規模問わず実施できると考える。先生方の反応からもご満足して頂けていることが分かる。

オフライン  
オンライン

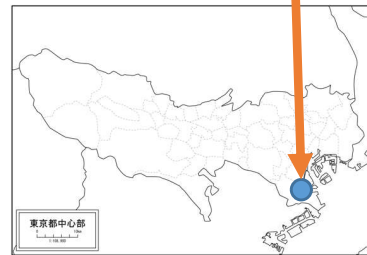
自由記述欄

●実施の様子



静岡県

東京都



南伊豆町役場



小学校

オンライン

オンライン

オンライン



ソーバル

●本取り組みの実施までの経緯

2019年度、南伊豆町サテライトオフィス誘致事業の一環で、事前に実際に南伊豆町を訪問しており、その中で自治体の担当者の方とのコミュニケーションや先生とのコミュニケーションが取れていたのはポイントではある。

なお、現在のwithコロナにおいては、往来が難しいなどもあり、オンラインでの信頼関係構築も視野に入れていきたい。

●参考URL

- <https://minami-izuru.com/archives/1610>
- <https://minami-izuru.com/archives/1639>

●コメント

- ・研修が有意義なものだったので、先生方の意識が変わってきました。
- ・多様な年齢層での参加だったが、全員が最後まで楽しく参加できました。